

## 平成27年度地域訓練協議会(9月～12月実施分)で出された主な意見

	有識者	産業界(労使)	訓練実施機関	行政機関等
1 制度の周知について			<p>最近では新聞を取っていない方も多く、WEB媒体から情報を取り入れている。 ホームページの改修を頻繁にしていき、新しい情報をアップしてキーワード検索に引っかかってくるようにするなどアクセス数を伸ばしていくことが効果的であると思う。(兵庫)</p> <p>草の根的な話になるが、回覧も一つの方法。訓練を受講したいが、問合せ先がわからないという方も多いと思う。新たな切り口になるのではないか。(茨城)</p>	<p>独自で発行しているスキルアップガイドをきっかけに託児サービスを利用している訓練生の記事が全国誌に掲載され、良い広報ができた。(高知)</p>
2 地域特性を踏まえた訓練設定について	<p>認定上限値は、国で設定されるが、これに対して地方は意見を上げることができないのか。(青森)</p> <p>平成28年度の求職者支援訓練の基礎コースを50%程度に引き上げるがどういった背景があるのか。(大阪)</p>	<p>基礎コースの雇用保険適用就職率が目標値を若干下回っており、目標値のハードルが高いと思われるが、基礎コースの見直し、テコ入れといった動きがあるのか。(青森)</p> <p>IT、建設、旅行観光分野が認定枠を設けているにも関わらず、訓練認定されていない。民間のパソコン講座は人気が高い。観光については、非常に多くの観光客が来ており、これから重要な産業になると言われている。また、建設は人手不足と言われており、ミスマッチが起こっている。(静岡)</p> <p>地域ニーズ枠で医療事務を設定するとのことであるが、専門学校でも看護と医療事務は人気の高いコースである。(香川)</p>		<p>訓練の設定等を行うにあたり重複しないよう、大阪府、機構、労働局の3機関でどのような調整等を行っているのか伺いたい。(大阪)</p> <p>県内の労働者は技術を持てば持つほど都会へ流出してしまう傾向にある。(福島)</p>

## 平成27年度地域訓練協議会(9月～12月実施分)で出された主な意見

	有識者	産業界(労使)	訓練実施機関	行政機関等
<p>3 人材不足分野について</p>	<p>建設分野は今後さらに需要が拡大するので、訓練もより多く必要になる。(福岡)</p> <p>介護関係の応募希望者が少ないという問題は、介護に携わる方々の待遇が職務に対して低いことが原因の一つ。(福岡)</p>	<p>建設の人手不足については、東京オリンピックが終わるまでではないと言われており、その後ニーズがあるのか疑問視されている。旅行・観光分野については、賃金が他の分野より低く、賃金体系が不確定などがあって人気がない。(静岡)</p> <p>建設関係の応募者が非常に少ない、やはり3Kのイメージが強いのか。(福島)</p> <p>介護分野は慢性的人手不足であり、関連就職率が高くてはすぐ離職してしまうとの話を聞く、定着に期待したい。(福島)</p> <p>人材不足対策として、職業訓練で対策がとれるのか疑問。建設関係に関して求職者のスキルアップの意欲が無いのが原因であり、スキルの問題ではない。(鳥取)</p> <p>自動車整備士は、外国の養成所で整備士を養成し、日本へ送り込むということを行っているほど人材不足である。(岡山)</p> <p>同じコースに若年者と高齢者が入った場合、理解速度に差が生じると思うので、訓練コースによって年代別に分けてやることも検討しても良いと思う。(茨城)</p>	<p>入域観光客数の増加に伴い、観光産業の盛り上がりが見られる一方、人材不足もある。観光関連の人材育成についてどのように推進していくのか。(沖縄)</p>	<p>介護分野の初任者研修コースは定員割れしており、実務者研修コースも受講希望者が減少している。(福岡)</p>

## 平成27年度地域訓練協議会(9月～12月実施分)で出された主な意見

	有識者	産業界(労使)	訓練実施機関	行政機関等
4 受講者属性等を踏まえた 訓練設定について	ワーキングプアと母子家庭の問題は多いので、託児付きサービスの様な施策が活用されてくることを期待したい。(宮城)	託児付きサービスの訓練を受講後、就職する際に新たに預け先を探すことになり、かえって就職を難しくさせることにならないか。(青森)	障害者については、訓練がかなり少ない。自治体との連携を図って話を進めていただくと非常にいい。(山梨)  託児サービスを利用している受講者の利便性のため、託児時間を伸ばすことはできないか。時間に余裕があれば受講者が増えるのでは無いか。(高知)	就職にあたっては自宅や職場から近いところを希望する傾向があり、就職が決まったらすぐに子供を預けられる環境とは限らない。(青森)
5 訓練実施機関について			認定状況について、認定申請件数に対して認定となった件数はどのくらいの割合か。(長野)	
6 総論的意見について	今回の協議会は、前年度及び今年度の取組状況を検証し、そのうえで職業訓練に対する求職者や企業が抱える地域の訓練ニーズを踏まえ、平成28年度の訓練計画にどのように反映していくかが、大きなテーマであるが、今回の協議会での意見等も踏まえて、引き続き労働局、県、機構支部の3機関による十分な協議・調整を図っていただくようお願いする。(長野)  現在は働き方が多様化しており、望んで非正規の方もいる。そのため「一律に非正規がダメだ。」というわけでは決してなく、そのことを説明するためにも、非正規の方を対象とした本意での非正規か、不本意での非正規かが分かる統計は必要である。(岡山)  事業所と求職者のニーズ調査をされているとのことだが、それとは別に公的、社会的なニーズ調査も必要に感じる。公的な視点でニーズのある人材を調べることも必要ではないか。現在はニーズがなかったとしても、将来的にニーズのある人材を育成することが、公的機関として必要と感じる。(岡山)	予算規模の関係で訓練の認定がだんだん縮小されているのは分かるが、できるだけ就職しやすいコース設定が必要。受講者、企業からのニーズを反映してほしい。(兵庫)	若い方はスマホを使えるが、仕事に関連するパソコンスキルについては、かなり未熟であることが多いので、若いからだけでパソコンができるとは限らない。介護の現場でも事務処理にはどうしてもパソコンが必要である。介護の訓練にもパソコンを入れていただきたい。(兵庫)  託児サービス付の訓練であっても受講終了後も託児所の問題が解決されなければ、就労は難しく、訓練の効果が薄れていく。訓練終了後についても対策が必要でないか。(兵庫)	

## 平成27年度地域訓練協議会(9月～12月実施分)で出された主な意見

	有識者	産業界(労使)	訓練実施機関	行政機関等
<p>7 その他 (上記1～6以外の意見)</p>	<p>訓練の有効性の関わりから、就職率の統計は、県内・県外を分けて示すべき。(青森)</p> <p>労災事故の増大が問題である、未熟練者が事故を起こすので訓練が重要。(福島)</p>	<p>公共の障害者訓練で、民間委託するのであれば、未達成、雇用経験が乏しい企業を開拓とあるが、既に達成していて理解のある企業の方がいい面もある。(愛媛)</p> <p>機械等は日々進歩しているところであるが、訓練を行う機械等は間に合うように充実していけるのか。(山梨)</p> <p>「職業訓練」という名称が、求職者側に対して、あまり良いイメージがないような気がする。「能力開発」という良い言葉があるので、これを取り入れるなどの検討をしていただきたい。(兵庫)</p>	<p>平成28年度の計画(案)の計画項目は、県、国の計画を合体しただけの印象があり、改革検討チーム報告書が打ち出している地域全体の人づくりの視点による職業訓練行政の一体的実施のための総合的な計画としては弱い面があると思う。(滋賀)</p> <p>対象者は就職に向け職業訓練をする人であり、より一体的な計画となるよう国、県、職業訓練施設等の具体的な連携方策を積極的に記述されることを期待。(滋賀)</p> <p>就職の質が求められるので「就職率に係る目標」では、そのうち正規職員がどれだけかわかるようにした方が良い。(滋賀)</p> <p>専門学校で介護を学んでいる学生に対し、訓練制度で何らかの援助をしてもらうことはできないか。(愛媛)</p>	